

食料・農業・農村政策審議会甘味資源部会（要約版）

【日 時】 令和 2 年 9 月 11 日(金) 13：30～16：20

【議 事】 令和 2 砂糖年度に係る砂糖調整基準価格（案）及び令和 2 でん粉年度に係るでん粉調整基準価格（案）について

令和 2 砂糖年度の砂糖調整基準価格案（153, 200 円/製品ト）及び令和 2 でん粉年度のでん粉調整基準価格案（165, 970 円/製品ト）について、了承された。

＜主な委員の意見＞

【1】砂糖の消費拡大

- ありが糖運動について、さらに広がるよう、インフルエンサーなどを巻き込み戦略を立てて進めるべき（三輪委員）。
- お取り寄せスイーツなどの情報発信が活発化しているが、砂糖について誤解している人も多く、砂糖の良さやスイーツがもたらすおいしさや楽しさを浸透させ、甘味資源そのものの底上げのため、根気強く消費者と連携し、情報発信していきたい（里井委員）。
- 消費者の原材料への関心が高まっている中、国産原料を大きく謳う原産地表示により菓子の付加価値を付けることは、砂糖業界の利益を大きくするポイントとなる（中宮委員）。
- SNSでの情報検索での該当率を高めるため、発信の仕方を統一するとともに、より広い範囲でタグやロゴを使えるようにすべき（中宮委員）。
- 砂糖の需要に関するより詳細で掘り下げた分析を行って、需要拡大は戦略的に検討すべき（矢野委員・嵩原委員）。

【2】糖価調整制度の運営等

- 砂糖の消費減に伴って、輸入原料糖は年々輸入量が減少し、それに見合って調整金の収入が減少。糖価調整法を安定的に運営するためには、国内の砂糖消費量に見合った国内産原料糖及び輸入原料糖のバランスを維持することが重要。国内の砂糖消費量の増減に応じ、てん菜糖の供給量を設定する仕組みを再構築すべき（樋口委員）。
- 異性化糖と砂糖の関係については、棲み分けは十分にできていると認識。調整金負担などの制度運用については、引き続き十分な配慮をいただきたい（太田委員）。
- 調整金収支の均衡を図るためにも、製造設備等を合理化してコストを下げ交付金の負担を軽減していくことが、糖価調整制度を維持していくためにも、ビート糖業の義務と考える。SDGsも踏まえ、社会的責任を果たしていく（惠本委員）。
- 加糖調製品について、砂糖に対する価格優位性が改善されておらず、価格面での

公平性の確保が大切。人工甘味料についても、農林水産省の所管ではないが、砂糖との競合品であるという扱いで取り上げて欲しい。てん菜糖の流通・消費について生産者、糖業が一体となって議論できる場を作るべき（小野寺委員）。

- 世界の甘味資源の生産状況が大きく変化してきた中で、日本の甘味資源政策も変更していく必要があるのではないか（有田委員）。

【3】生産現場の課題・対応

- スマート農業の実証事業の成果や課題を他の事業者・農業者等にいち早く広めるための戦略を検討して欲しい（三輪委員）。
- 生産者の高齢化、機械化の遅延、働き方改革等の諸課題がある中、次の世代へいかに甘味資源を残していくかという切り口での議論が必要（里井委員）。
- 若手の導入を図るため、農業大学校での出張講義やインターンシップ等で若者にアピールしていくべき（松田委員）。
- さとうきびの生産については生産コストが低い株出栽培にシフトすることは正しく、その単収向上に努めるとともに、株出栽培の効率化のため株出管理機などの導入を行い、所得向上や担い手育成が急務。製糖工場の働き方改革については、農水省や内閣府、沖縄県の支援事業を活用して、工程の自動化、従業員の技術向上により、人員の増加を抑え、残業時間の削減に努めている（上江洲委員）。
- 高齢化や担い手不足に対しては、農作業の機械化や農作業の受委託化を通じた効率化が重要（田村委員）。
- さとうきびの生産現場の高齢化の問題が待ったなしの状況。スマート農業の実証や、農作業受委託等の前向きな取組をしていく必要（嵩原委員）。

【4】新型コロナウイルス感染症による影響

- さとうきび産業は、医療体制が脆弱な離島にあるため、製糖工場の稼働への支障等新型コロナウイルス感染症の拡大は大きな影響。次期製糖期を迎えて種々の感染予防に努めている（上江洲委員）。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、他産業と同様に、補助事業による設備の設計・施行に遅れが出ている。補助事業には年度の壁があるが、配慮して欲しい（田村委員）。
- 新型コロナウイルス感染症が最大の問題。今回の新型コロナウイルスの影響を受けた砂糖の需要激減に対しては、これまでの対策に加え、抜本的な対策が必要（小野寺委員）。

【5】その他

- さとうきびは炭素吸収力に優れていると言われ、その生産が甘味だけでなく地球温暖化対策としても非常に有効であることも関係者の方には伝えていただきたい（嵩原委員）。